

県豊工業組合総代会

品質管理の徹底を

県豊工業組合(増田勇理事長)は21日、鹿児島市で第48回通常総代会を開き、安全な製品の提供と適正価格の堅持や、技能資格制度の推進などを盛り込んだ新年度事業計画を決めた。

会の冒頭、増田理事長は全日豊が導入した品質管理セミナーや団体規格等の改訂など、業界を取り巻く環境は目まぐるしく動いている状況を踏まえ、「厳しい経営状態が続くが、エンドユーザーである顧客に、自信を持って提供できる製品づくりに努めてほしい」と述べた。

続いて、来賓の有馬邦春県中小企業団体中央会連携支援課上席指導監、原田義光県産業能力開発



増田理事長(右)から全日本豊事業協同組合理事長表彰を受ける会員＝鹿児島市のKKRかごしま敬天閣で

市のKKRかごしま敬天閣で、第48回通常総代会を開き、安全な製品の提供と適正価格の堅持や、技能資格制度の推進などを盛り込んだ新年度事業計画を決めた。

引き続き、豊倉知利副理事長を議長に選出し、理事に移り、第48事業年度事業・収支決算報告、第49年度事業計画・収支予算案などを審議した結果、執行部原案通りすべて可決承認。また、全日本豊事業協同組合理事長表彰の伝達も行われ、松崎和雄氏、奥松治氏、下平征一氏に感謝状と記念品が贈られた。最後に、宮伸一郎青年部長が新年度の「スローガン」を読み上げて閉会した。

新年度事業計画は①品質管理事業の推進②教育訓練の充実③広告宣伝および啓発事業の推進。スローガンは「消費者との共存・共栄は品質管理の充実から②消費者保護は証書表示から③組織強化と後継者育成④技能伝承と後継者育成」を掲げた。

国玉建設がボランティア

ウナギなど放流



国玉建設(国玉良治社長、大口市)は21日、同市の十曾川でウナギ40尾、アユ20尾の放流を行った。

監視カメラ 暗視カメラ 水中カメラ インターネットカメラ



電気錠 セキュリティー機器

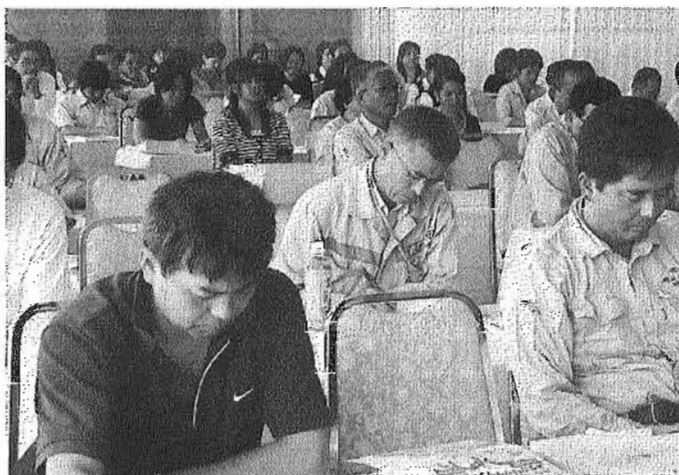
株式会社ゼネラル エンヂニアリング

TEL 099-223-6386 FAX 099-226-7758

お手軽で便利な
購読料のお支払いは

[自動振替で]

鹿児島建設新聞
099-227-5100へ



実施事項や健康管理について学んだ説明会
＝奄美市の奄美シーサイドホテルで

奄美市で衛生週間説明会

100人が健康管理学ぶ

10月1日から始まる全国労働衛生週間を前にし、説明会が奄美市の奄美シーサイドホテルで、約100人が出席して

本週間の準備期間中の実施事項や健康管理について学んだ。今年の「スローガン」は「こころにゆとり からだに余裕 みんなどつくる 健康職場」。

まず鹿児島労働局の八木健一労働基準部長が挨拶で「会社を支えているのは人。人が倒れたら会社も倒れる」とコメント、また名瀬労働基準監督署の水溜米作署長も「健康確保対策は、会社のトップがいかにか正確に把握し対処できるかが重要」と話した。

鹿屋建友会が奉仕作業

駐車場がすっきり

鹿屋建友会(小林正義代表理事)は20日、恒例となった奉仕作業を鹿屋市向江町の市立中央公園



鹿屋建友会で行った「写真」。毎年「建築の日」に合わせ実施している。同公園で朝礼を行った後、参加者50人を前に小林代表理事が「恒例となった奉仕作業です。地域の方が憩いの場として利用される公園ですので、きれいになるまで頑張ります。また暑いので日射病に気をつけてお願います」と挨拶。続いて同市公園課長の郷原氏が「夏場の公園管理は大変です。毎年の奉仕作業に感謝しています」と謝辞を述べた後、

前の食事や間食、喫煙、過度のアルコール摂取が最も悪影響を及ぼす」と話した。

最後に名瀬労働基準監督署の小松慎太郎安全専

門官が本週間の準備期間中の実施事項について説明を行った。その中で小松氏は「健康管理は個人だけの問題ではない。会社内の健康診断も事後話し合いを持つなどして

会員企業が初の「打ち水」

地球温暖化防止を实践



市民への啓発も期待される打ち水＝鹿児島市の現地で

で環境宣言に伴う「打ち水」を初めて行った。地球温暖化防止に根差して、5月から10月までの1日と20日に実践することとしている。

同支部は、子供たちの未来環境を守るべく、環境負荷の低減に努めるとの「環境宣言」を実施。電力、水の消費抑制、燃料節約による排出ガス削減などに取り組んでいる。

打ち水は雨水や風呂の残り湯などを使用し、暑い月の1日と20日、午前10時と午後5時の2回行う(祝祭日は前後にスライド)。気温が下がることでエアコンの消費電力を抑え、CO₂排出の低減に有効とされる。当日も、会員らは雨水をシートやバケツにためたり、現場近くの川の水をくむなどして準備。ひしゃくなどを使って「二次水」をまいた。

行政等の関係者は、地域の基幹産業である建設業の取り組みが広く浸透し、多くの市民に波及していくことを期待している。